

令和 5 年度 芳賀町学校運営協議会(分科会)会議録			
日 時	令和 5 年 7 月 6 日 (木) 9 : 5 5 ～ 1 1 : 4 5		
場 所			
出席者	[学校運営協議会委員] 佐藤 和洋、小林 佐知子、広田 マリ子、水田 晴美、 今西 雅子、岡田 由美子、岩村 智織 (協議会委員出席 7 名)		
	[学校関係出席者] 生井 克成、関本 恵美子、阿久津 仁		
	[生涯学習課] 小林 春彦		
司 会	関本 恵美子	書 記	関本 恵美子
概 要	1 開会 2 校長あいさつ 3 自己紹介 4 懇談 5 閉会		
協議事項			
○校長あいさつ ・昨日(7/5)の午前中に、西高橋シニアクラブ(会長 稲川勝美さん他10名)が学校の周囲にあるベニカナメを剪定してくださった。 ・広田マリ子さんをきっかけに、学校見学ツアーも実施できた。詳しくは広田さんから。 ・はが道の駅で社会を明るくする運動に参加した。その際、道の駅はがで「ハウス梨」を見つけ購入した。 →岡田：稲毛田で3軒ほど栽培農家がある。品種は「織り姫?幸水?」 ・6月学校だよりを見ながら、児童の様子を紹介。 (合唱部、人権の花贈呈式、宿泊学習、学校見学ツアーなど)			
○自己紹介			
○懇談			
(1) 学校見学ツアーについて			
広田：(学校見学ツアーについての説明) ・11:00～13:00で実施。 ・学区内の各自治会、シニアクラブから約3名ずつ、ハッスルクラブ、にじのメンバーなど、合計21名が参加。 ・授業体験(教頭)、校内見学(みなみの会にじのメンバーが案内)、給食の試食・栄養士の話(に			

じのメンバーが配膳)を行った。にじのメンバーは、当日一人一役を担う機会を設けた。

・アンケートの結果、概ね良好な結果だった。後日、参加者が地域の方に、「見学ツアーがよかった。」と話していたと聞いた。口コミで広がるといい。

・今後どのような方に参加してもらうかが課題である。

佐藤：ぜひ、広く地域に広めてほしい。

岡田：男女共同参画の視点から、女性の参加者は何名？

→約半数。(正式にはにじのメンバー5名を除き、男性11名、女性12名だった。)

岩村：機会があればぜひ参加したい。給食を食べられるのは魅力的。

佐藤：まずは学区内からではどうか。

岡田：今後の予定は？

→宿泊学習で4年生が不在になる分の給食を生かした。模擬授業の教室も4年教室を使用した。今後は、修学旅行や臨海自然教室の時に実施できるのではないかと考えている。

広田：みなみの会にじとしては、ロング昼休みに昔の遊び「竹返し」なども実施している。夏休みには学童保育にも教えに行く予定。

(2) 児童・生徒の掃除の仕方について

広田：掃除ボランティアに参加しているが、掃除のしかたが分かっていない子供が多い。トイレ以外も協力している。

岡田：芳賀中では、清掃指導仕方をまとめたものをいただいて、先生方の指導とずれないようにしようと思っている。

岩村：北小では、ボランティアさんと児童とで、その都度臨機応変に行っている。

今西：にじのメンバーは5～6人しかいないので、トイレに入ることが多い。

その他、掃除についての課題等

- ・言われたことしかやらない。(掃く前に拭くなど手順が理解されていない。)
- ・終わったら、ぼーっと立っている。
- ・清掃終わりのあいさつをせずにいつの間にかいなくなる。
- ・高学年が楽な仕事をやっていて、大変な仕事をやらない。
- ・教師が、ボランティアをどう思っているかによって違いが出る。ボランティアに役割を分担してくる教師も。
- ・小学校でできれば、中学校でもできる。昔は先輩から教えてもらうことも多かった。コロナで途切れたか？家庭でも掃除をしなくなっているのでは。

岡田・水田：読み聞かせボランティアをしているが、別の場所で読み聞かせの御礼などを言われるととてもうれしい。声をかけてもらえるのもボランティアとしてのやりがいになる。

広田：家事を手伝う父親は意外に少ないらしい。(部分的に協力している人は一定数いるとのこと。)

(3) 今後の諸活動について

佐藤：南小の資源物回収では、今年度もボランティアの協力をお願いしていきたい。

水橋地区の40～60代を中心としたボランティア団体の立ち上げを模索中。学校の手伝い等、来年度あたりから活動できるとよいと思っている。消防の男性を中心にメンバーを集めるところから。

広田：どんど焼きやプレーパークなどにも関わってもらえるとうれしい。どんど焼きは参加してみたいが、他地区でとなると遠慮してしまうところもある。

佐藤：芳賀南小の校章の意味を知りたいと思っている。また、3小学校が芳賀南小学校に統合されていった歴史なども地域の人たちと調べていくようなレクリエーションなどもできると思っている。

佐藤・小林・広田：南小の子供が減っている。増える要素がない。学区の再編や自由に登校する学校を選べる様な制度なども考えていく必要があるのではないかな。

○閉会にあたって

校長：宿泊学習でも、自分のカレー皿が洗えない子がいた。（カレーを流さず直接スポンジで洗うなど）食洗機の普及などもあり、経験が減っている。

「保護者や地域の方々との協働状況」と昨年度末の広瀬先生の講話をまとめた資料を配付した。時間のあるときなどに読んでみていただけるとありがたい。